

【取組内容③】「校務の効率化、Teamsのチャット機能で情報共有の円滑化へ」

・まずは教職員自身がICT活用を積極的に活用し情報伝達の便利さを広げ、確実な業務改善へ

校務のICT化の取組

できることから少しずつ

1 目的

・情報共有をより円滑にする。

2 チャットの活用

Teams内にあるチャット機能を使えば、1対1や複数でメッセージのやりとりをすることができます。
連絡事項を伝達する際に教室まで伝えに行ったり、ふせん等に書いて机に貼り付けたりしていましたが、チャットだと瞬時に情報を伝えられますし、ふせんがどこかに行って情報が散逸する危険性もなくなります。

①活用できそうな場面

・保護者から「今日は学童休みます。」「病院に連れて行くので〇時に迎えに行きます。」といった連絡を受けたとき。

・教室から欠席状況を確認したいとき。
(コメントを打ち込むのが手間な場合は通話機能もあります。)

②お願いしたいこと

・着信音が鳴るように設定する。
・タブレットを教室に持って行く。
・こまめにチェックする。
・メッセージを確認したらなるべくいいねなどのリアクションをする。

チャット機能
音声通話機能
の活用

先生たちの声

・チャット機能は簡単に連絡事項を伝えておくことができて便利。
・急ぎの用件の時は、音声通話がすぐにやり取りできて便利。
・ちょっとした要件があるときも、わざわざ教室に尋ねていなくても連絡が取れるのはありがたい。
・職員室に戻ったときに確認しようと思っていたら忘れていたということもあるけれど、その場で直ぐにチャットすれば、忘れることが少なくなる。